

⑭ A Semiformal Metatheory for Fragmentary and Multilayered Knowledge  
as an Interactive Metalogic Program

A. Hamfelt\*, Å. Hansson(Uppsala Univ. , スウェーデン)

発表要旨

準形式的なメタ理論は断片的に、多層的に、そして不十分に形式化された知識で表現されている。その形式化には3つに区別された理論がある。それは、非形式的理論、形式的理論、そして、形式的理論を論じるための非形式的メタ理論である。

ここでは、多層的で、不確定な理論には、非形式的なメタ理論を準形式的なメタ論理プログラムに置き換えることを提案する。

法的な知識をホーン節メタプログラムで表現し、対話的にメタ証明を構成・提示することにより、ユーザは導き出された結論を評価・許容、あるいは拒否することができる。

質疑応答

質問：現実の法律に適用するためには、それが、対象としている特別な事例に適用されたルールの階層の底でどのように開かれた構造の述語であるかを定めることが必要である。しかし、より複雑で、より精巧なモデルに適用するためには、私には、より単純でより良いアプローチと比較する必要があるようだ。これについてどう考えているか。

回答：それはあなたのシステムでは、あなたが望む援助の種類に依存しているからで、もし、この開かれた構造概念を補助するユーザへのあなたが援助することを望まないのなら、多分あなたは非常に制限された援助を行なっている。もし、あなたが法的推論処理への適用を望むなら、きっと私と似たようなフレームワークになる。

質問：頭部の否定を持つルールの取り扱いはどのように行なっているか。

回答：このフレームワークではそれは問題ではない。まず、否定の帰結を持つ法的ルールを認め、否定を取り扱うための言語の開発が必要である。